

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年10月20日

審査機関名 ソレック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	メロン温室への木質ペレットボイラー導入事業
承認番号	JCDM-PJKC1278
排出削減事業者名	宮本農園
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン
事業実施場所	メロン温室 (静岡県磐田市太郎馬新田字上田 74-1)
事業の概要	ボイラーの更新により、重油から木質バイオマスへの燃料転換を行い、CO ₂ の排出削減を行う。 なお、A重油ボイラーはバックアップとして引き続き利用する。
排出削減量の計画	2011年度：74tCO ₂ /年 2012年度：224tCO ₂ /年 2013-2018年度：216tCO ₂ /年 2019年度：144tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 1738tCO ₂)
認証期間	開始日 2011年12月2日 終了予定日 2019年12月1日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年12月1日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2016年4月1日～2019年12月1日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	674 tCO ₂ （2016年4月1日～2019年12月1日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー運転記録及び木質ペレット購買伝票及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 ボイラー運転記録及び木質ペレット購買伝票、事業実施前後ボイラーのカタログによる効率値及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 ボイラー運転記録及び木質ペレット購買伝票及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.6により、排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。また、木質ペレットの単位発熱量に

	<p>については、分析試験成績書（各年）に基づき適切に把握されていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を木質ペレット購買伝票及び木質ペレット単位発熱量分析試験成績書と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2016 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 1 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 12 月 1 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量は原油換算 236.8 kl、熱量換算 9,176 GJ であることを確認した。

以 上